

# いきいきとした笑顔あふれる デイサービスあつた

— 『社会福祉法人 名古屋キリスト教社会館 発達センターあつた』 —

梅雨の晴れ間に、名古屋市熱田区にある社会福祉法人 名古屋キリスト教社会館 発達センターあつた(以下: 発達センターあつた)にお邪魔し、1日ボランティア体験をさせていただきました。そして職員の尾藤さん、加藤さんにお話をうかがいました。

## 造形教室

発達センターあつたでは、障がいをもつ子どもたちが通う通園施設やデイサービスあつた(乳幼児対象の児童発達支援、学齢児の放課後等デイサービス)を運営しています。通園施設の定員は36名、デイサービスの定員は10名です。今回は毎月第2、第4土曜日に実施されるデイサービス事業のうち、中高生クラスでのボランティア体験をさせていただきました。

放課後等デイサービスは、学年齢によって小学生クラスと中高生クラスの2クラスに分けられています。通ってくる子どもたちの顔ぶれは基本的に同じで、活動内容としては小学生クラスは公共交通機関や公共施設を利用するお出かけを、中高生クラスは造形活動として彫刻刀を使った工作や調理体験などをメインで実施しています。

今回の取り組みはプラ板アート作り。透明なプラスチック板にカラーペンで絵を描き、キーホルダーやネックレスを作りました。色、大きさ、形は子どもたちが好きなように制作。時々スタッフの手も借りながら、思い思いの作品を作りました。

「造形教室の良いところは制作活動を通じてみ

んなが一体となれるところ」と、尾藤さん。

造形のクラスでは造形担当の先生がおり、「プラ板をしよう」というのも先生のアイデアです。子どもたちの個性やできることに合わせて、プラ板をどのように活用するかという目線から、その日の進行を決めています。

## 保護者との連携

現在の運営形態として発達センターあつたがスタートしたのは2003年。当時は学齢期の子どもたちが放課後に通える場はまだ数少ない状況でした。そこで、保護者からの働きかけにより、放課後に通える学童保育のような居場所として「みずほっこ」が約10年前からスタートしました。これが、今回お邪魔したデイサービスあつたの原型となりました。

一般的には送迎のあるデイサービスが大半だそうですが、保護者による送迎が難しい場合もあるでしょうが、あえて送迎をしないことには「保護者の方々との交流を大切にするため」という理由がありました。「今時送迎サービスがないのは珍しいと思います。でも、送迎をしないことによって、保護者の方々との連携が密にとれるというメリットは大きいと思います」

と、尾藤さん。

それは、保護者の方々にもメリットとして受け入れられているようです。また、デイサービスあつたでは、キャンプなどの余暇支援が実施されていることも特徴のひとつです。岐阜県で毎年実施される2泊3日のキャンプには保護者は付き添わず、職員、ボランティアと子どもたちだけが参加します。これも保護者からの信頼があってこそといえそうです。

## 「楽しくあそんで」

「気をつけていることなどはありますか?」という私の問いに、「子どもがいきいきと輝いている姿を大切にしたいです」と、尾藤さん。初めてこの施設にボランティアに来た人の場合、自閉症児特有のこだわりや、言葉によるコミュニケーションの難しさを感じて戸惑うこともあるそうです。お話をしてくれた尾藤さんも、学生時代には社会福祉士の実習の中で、自身の無力さを感じることがあったそうです。

しかし、今回出会った子どもたちはこちらから笑顔で話しかければ、初対面の私もすぐに打ち解けて、一緒にボール遊びやお絵描きをしてくれました。普段からボランティアが活動に入ることが多いからか、誰に対してもあまり人見知りをすることはありません。尾藤さんのモットーは「自分が心の底から楽しむこと」なんだそう。そうでないと子どもたちは敏感に感じとり、楽しめません。子どもたちに楽しく活動に取り組んでほしいから、尾藤さん自身も心の底から楽しむことにしているそうです。

## 地域で暮らす

健常者の子どもたちと比べれば、障がいのある子どもたちは周囲の手助けが多く必要となります。



カメラをかまえてお友達を激写

しかし、周囲の理解や支援体制が不十分な面があることも現実です。不足した部分については、家庭でケアを引き受けざるを得ません。そうなれば、子どもたちも家族も周囲との接触が限られていってしまいます。そのような状況を受け、「家庭の中だけでなく、子どもたちが地域で暮らせるようにしたい」と、尾藤さんと加藤さんは口をそろえます。

通ってくる子どもたちは年齢が違うだけではなく、周囲とのコミュニケーションの取り方もさまざまですが、みんなとても仲良しです。子ども同士で明るく声を掛け合ったり、時にはふざけあつたりと、終始満点の笑顔がみられました。やはり通いながれた場所だからなのでしょう、ただハツラツと楽しそうだけでなく、リラックスしたムードが漂っていたことも印象的でした。

### Information

社会福祉法人 名古屋キリスト教社会館  
発達センターあつた  
〒456-0031 名古屋市熱田区神宮4-9-12  
TEL: 052-681-1167  
FAX: 052-681-1178





プラ板をのぞきこむ



プラ板アート

#### [ この日1日のスケジュール ]

9:00	発達センターあつた 職員室に集合
9:15	ボランティアミーティングに参加
9:30	教室の準備スタート
9:45	子どもたちが登園し始める ボールなどを使って思い思いの遊びを始める
10:30	朝の挨拶と「さんぽ」の合唱から教室が スタート! 各自プラ板アートを楽しむ
12:00	お迎えに来た保護者の皆さんに 今日1日の成果を報告して教室終了

